

新品種の紹介

北海道農業試験場（現 独立行政法人農業技術研究機構北海道農業研究センター 札幌市）が育成した**オーチャードグラス**と**アカクローバ**（根釧農業試験場と共同で育成）の新品種をご紹介します。まだ正式な名前がなく（系統名のみ）、これから種子増殖などを行う為、市販されるのは数年先になります。品種名や種子の販売開始時期など順次決まり次第お知らせいたします。

オーチャードグラス ” 北海26号 ”

多収な**中生品種**で北海道全域に適し、**採草利用と放牧**にも適しており、「オカミドリ」よりややほふく型で耐病性があります。

早晚性について

出穂始めは道内平均 6月4日であり、浜頓別町では6月6日で「オカミドリ」より1日遅い「中生」です。

表1 出穂始め

年次	平成10年		平成11年		平成12年		平均	
	北海26号	オカミドリ	北海26号	オカミドリ	北海26号	オカミドリ	北海26号	オカミドリ
浜頓別町	5/29	5/29	6/9	6/8	6/9	6/7	6/6	6/5
道内平均	5/30	5/30	6/7	6/6	6/6	6/6	6/4	6/3

越冬性について

「強」で「オカミドリ」と同程度（雪腐大粒菌核病には優れているが、寒さには同程度からやや劣る）であり、春の草勢はやや優れています。

表2 越冬関連形質

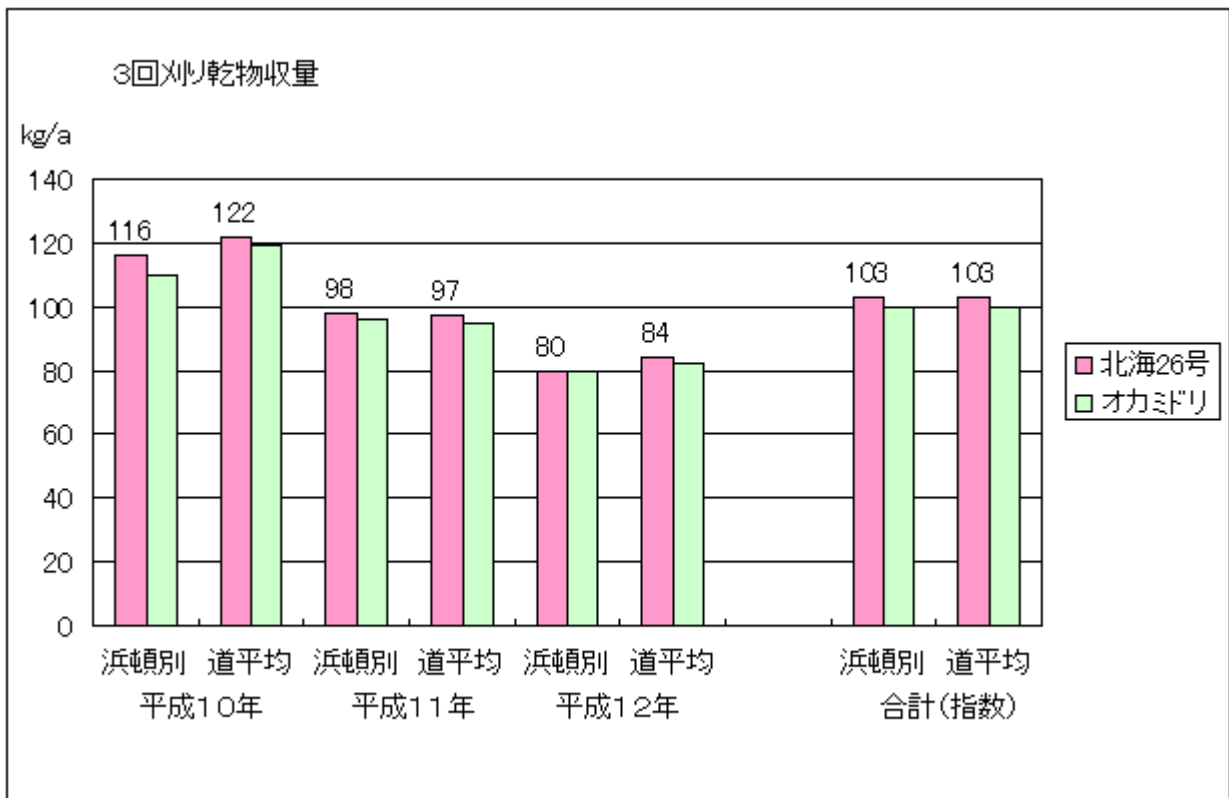
品種	越冬性 ¹	耐寒性 ²	耐病性 ²	春草勢 ¹
北海26号	6.4	中～やや弱	強	7.1
オカミドリ	6.3	中	やや強	6.4

注1：1 不良～9 極良（道内平均）

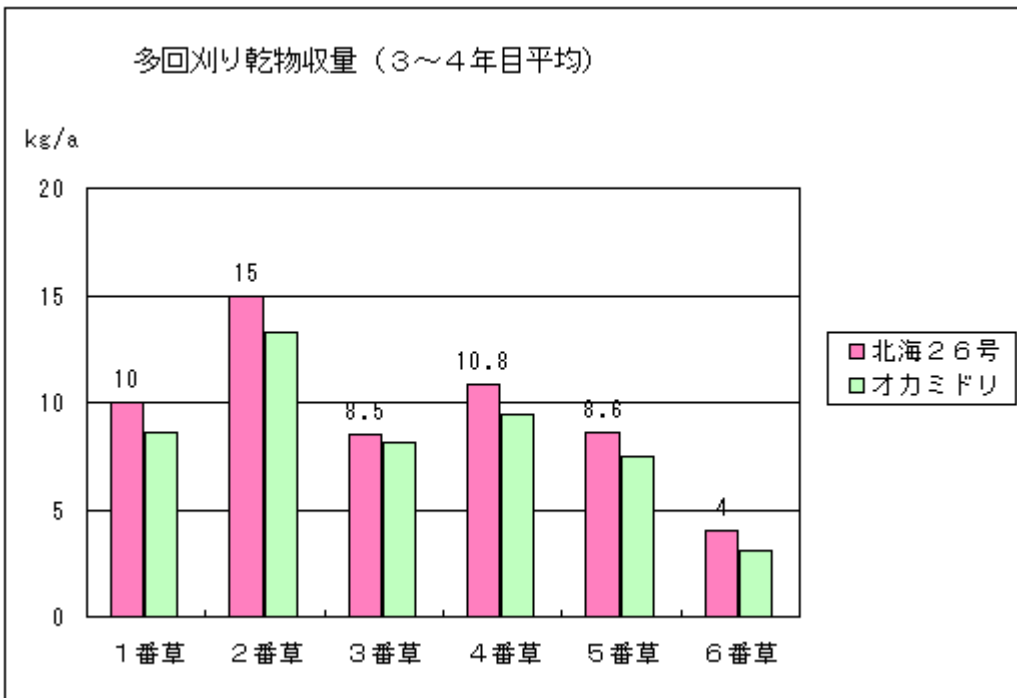
注2：根釧農試耐寒性検定試験。病害は雪腐大粒菌核病。

収量性について

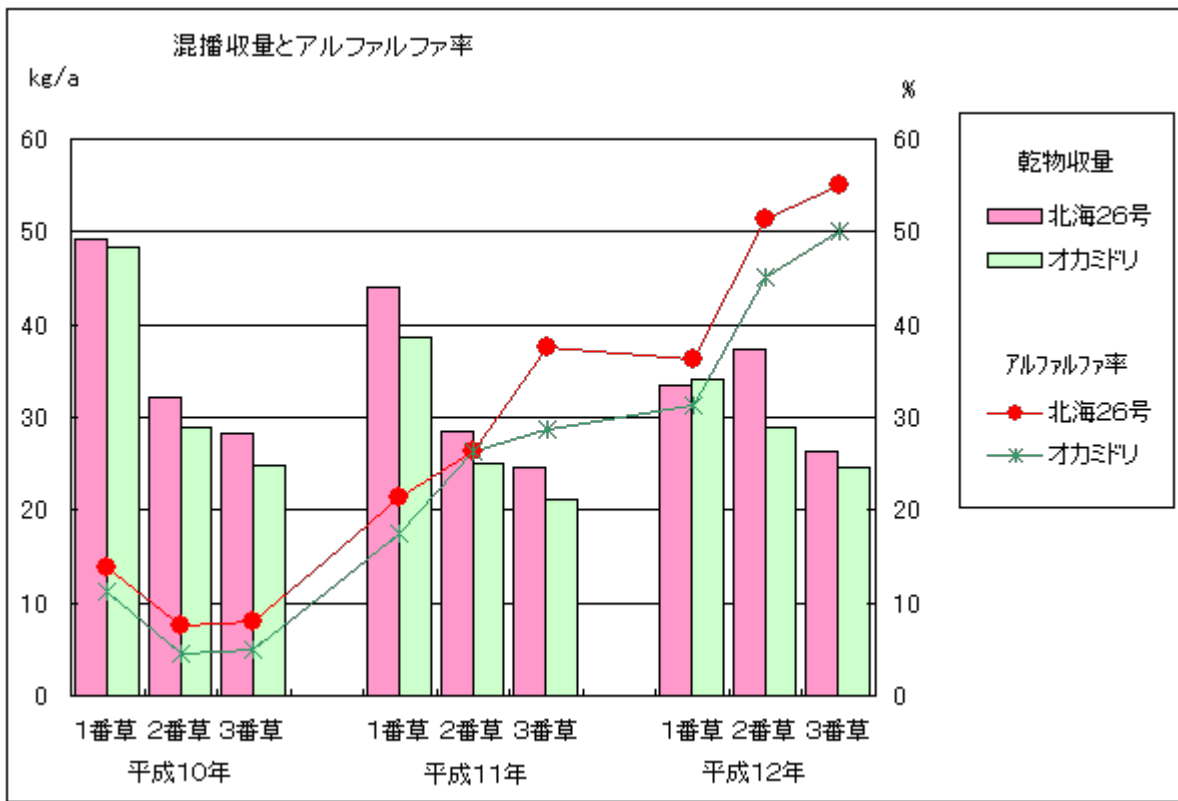
単播：3回刈り（採草）の道内平均、浜頓別町とも乾物収量は「オカミドリ」比103で、同程度からやや優れており、特に1番草が多収です。



多回刈り（札幌市6～7回）でも乾物収量は「オカミドリ」比108と優れています。また、去勢牛を年6～7回放牧した利用3年目秋の被度でも「オカミドリ」と遜色なく、放牧利用にも適しています。



混播：札幌市での3回刈りによるアルファルファ、アカクローバとの組み合わせともマメ科率の推移は「オカミドリ」と同程度で、混播収量は多収、シロクローバ（多刈り4年目被度11%）との混播でもマメ科率は同程度でやや多収です。



その他の形質

各種葉枯れ性病害にたいしては「やや強」で「オカミドリ」より強く、耐倒伏性は「強」ですが「オカミドリ」よりやや劣り、飼料成分は同程度です。

アカクローバ

” 北海9号 ”

チモシーの早生、中生品種と混播できる**競合力の穏やかな早生品種**（チモシー主体の管理を行うのに有利なアカクローバ）で北海道全域に適し、越冬性に優れています。

早晩性について

開花始めは道内平均は6月22日、浜頓別町では6月25日で「ホクセキ」と同程度の「早生」です。

表1 開花始め（6月の日）

年次	平成11年		平成12年		平均	
	北海9号	ホクセキ	北海9号	ホクセキ	北海9号	ホクセキ
浜頓別町	21	21	28	28	25	25
道内平均	20	20	28	28	22	22

越冬性について

耐寒性は「やや強」で優れており、「ホクセキ」より萌芽、春の草勢とも勝り、寒さに対する収量低下も少なくなっています。

表2 耐寒性検定試験（根釧農試）

注 1:1 不良～9 極良（除雪区） 2:積雪区に対する除雪区の割合

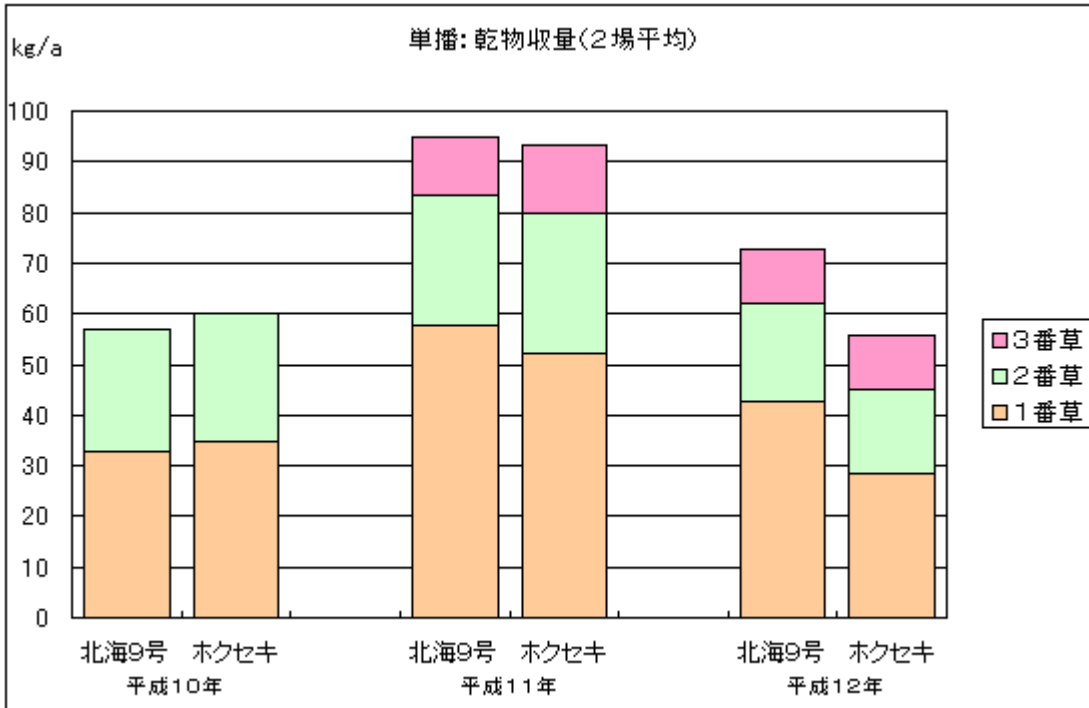
品種	萌芽良否 ¹		早春草勢 ¹		1 番草収量 ²	
	平成11年	平成12年	平成11年	平成12年	平成11年	平成12年
北海9号	3.2	2.5	3.0	3.5	74	58
ホクセキ	2.2	1.7	2.8	2.5	56	50

注1：1 不良～9 極良(除雪区)

2：積雪区に対する除雪区の割合

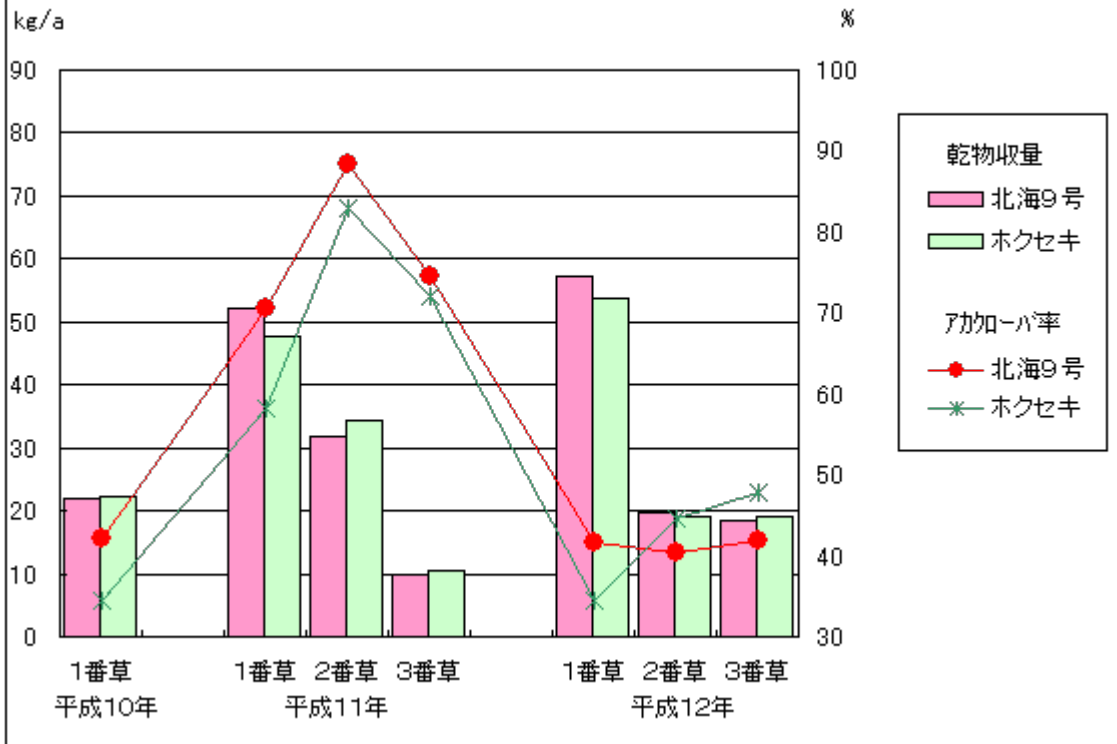
収量性について

単播試験（札幌市、訓子府町）では3ヶ年平均で「ホクセキ」比108と多収です。



チモシーとの混播試験（2～3回刈り）の合計収量は全道5場平均「ホクセキ」比99、「北海9号」の割合は「ホクセキ」より低く推移し、混播適性は優れています。浜頓別町（3回刈り）では「ホクセキ」比102でした。

混播収量とアカクローバ率(浜頓別町)



その他の形質

うどんこ病、菌核病にやや強く、永続性、飼料成分は同程度です。